



さいたま市立大原中学校 学校だより

# 新しき光



さいたま市立大原中学校

TEL 048-831-5397 FAX 048-835-1357

WEB <https://ohara-j.saitama-city.ed.jp/>

## 第5号

校訓「歴史を拓く」 学校教育目標「はつらつとした生徒、地域の「一因」となる学校」

令和8年9月1日発行

## 「いざ」を忘れず、「なりたい自分に近づく」2学期を

校長 加藤 英教

連日の夏の厳しい暑さにも負けず緑色の穂をぐんぐん伸ばしていた稲が、ここ最近ふっくらとした実をたたえ黄金色に色付き始めました。今年のお米は豊作とのこと。今までとは違う猛暑や豪雨をもたらした夏も、気付けばいつもと同じ自然のサイクルで秋に向かい始めました。

まず、令和8年熊本地震や令和8年8月千葉豪雨において、亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、先月末福井県各地を襲った豪雨も含め、今なお自然災害の被害に苦しんでおられる全ての方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

本日9月1日は「防災の日」。これは、1923年に発生した関東大震災にちなみ1960年に制定されました。そして、この「防災の日」を含む8月30日～9月5日の1週間は、「地震・台風・豪雨など自然災害への理解を深めること」、「日頃からの備え（自助・共助・公助）を強化すること」を目的とした「防災週間」と定められました。「全国的な防災普及行事を集中的に行うための期間」として全国各地で大規模災害を想定した訓練が実施されます。

大原中学校では、2学期開始直後の先日8月28日に、今年度3回目となる避難訓練を実施。今回は、初めて「水害を想定」した訓練となりました。4月と7月過去2回の避難訓練も含め、それぞれの訓練を振り返り、生徒の皆さんが安全・安心な学校生活を送ることができるよう、教職員一同で日常点検に引き続きしっかり取り組みます。生徒の皆さんも、始業式の校長式辞で触れたとおり、いざという時に、まず自分自身は自分が守る「自助」について、この「防災週間」を契機に自分事として考えてください。まさに今、災害が発生したら、あなたは何をすべきでしょうか？必ずやってくる「いざ」を、学校にいない時でも常に頭に置きながら、唯一無二の大切な存在である自分自身と周りの人を救う存在となってください。

さて、2学期が始まり、校内に生徒の皆さんの元気な声や明るい笑い声が戻ってきました。さらに、今月15日にレイボックホールで開催される合唱コンクールに向けて、各クラスの歌声が響いており、中学校らしい明るい日常が校内に満ち溢れています。夏休み中しばらく静かな学校で過ごしていたので、始業式後の教室から聞こえる皆さんの声を耳にして、やはり学校には生徒が不可欠なのだと再認識しました。

2学期は、合唱コンクールから始まり、生徒会本部役員選挙、新人体育大会、駅伝競走大会、体育祭、そして中間・期末テストと、大切な行事が目白押しで、忙しい毎日が続きます。3年生には、進路選択という大きな課題も控えています。こうした多くの行事がある2学期は、皆さん一人ひとりが活躍できる様々な場面があることを意味します。年度当初にお話した「なりたい自分になる」一年とするために、それぞれの場面で「なりたい自分に近づく」努力を、全員にお願いしたいと思います。

大原中学校には、皆さんの人生を豊かにする、大小様々なきっかけが数多く存在します。4ヶ月後の年末に向けて、心身ともに大きく成長していく皆さんの姿を、校長として今から楽しみにしています。